神戸新聞 2026年10月26日 月曜日 面名 夕一社 夕4 7ページ



利用者が覚え間違えた本のリストを作成している福井県立図書館＝福井市

「おい桐島、お前部活やめるのか？」みたいな名前の…

本タイトル覚え間違い1400件

福井県立図書館、リスト作成20年

「ホラ吹きのゴーシュ」

「おい桐島、お前部活やめるのか？」。福井県立図書館（福井市）は、覚え間違いをした利用者が職員に問い合わせた本のリスト作成を続けている。2007年に公開を開始。毎年1、2回更新し、リスト掲載は1400件に達した。活字離れが進む中、担当者は本を手に取る人が増える一助になれば、と話す。

リスト作成のきっかけは約20年前。本を探す利用者からの相談内容やその後のやりとりをまとめ、業務の参考にしていたエクセルファイルがあった。職員同士で眺め、くすりとすることがあり「インターネットに載せたら面白い」と公開を決めた。大きな反響を呼び、21年には覚え間違いをまとめた書籍「100万回死んだねこ」を出版した。

福井県立図書館への主な質問と正しいタイトル

カフカの「ヘンタイ」	➡「変身」
「100万回死んだねこ」	➡ ①
「トコトコ公太郎」	➡ ②
「あだしはあだしでいぐがら」	➡「おらおらでひとりいぐも」
「こぐまちゃんのパンケーキ」	➡ ③

※同館による

その後も交流サイト（SNS）でたびたび話題に。今年8月、図書館の公式X（旧ツイッター）でリスト更新を投稿すると10万件の「いいね」が集まった。書籍の続編となる第2弾の出版も検討中だ。

リスト作成は正式業務となり、館内の利用者が職員に相談する内容のほか、オンラインフォームで全国の図書館や書店からも覚え間違いを募る。相談を通じ、蔵書や情報を探す「レファレンス」の利用促進にもつなげたい考えだ。

担当の森千里さん(39)は図書館の役割を「人生を豊かにする手伝い」と表現。コロナ禍前、年間60万人ほどいた同館入館者は近年、7～8割ほどに。司書の宮川陽子さん(50)は「リストが読書や来館のきっかけとなってほしい」と願う。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

ＮＩＥワークシート　小～高校

記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1　福井県立図書館が、覚え間違いをした利用者からの本の問い合わせリストを作成し始めたのは、約何年前からですか。

約[　　]年前

2　表の■①②③に入る、正しい本のタイトルを書きましょう。（みんなもよく知っている本ばかりですね）

①[　　]

②[　　]

③[　　]

3 「レファレンス」とは何ですか。[　　]に本文中の語句を入れて、説明文を完成させましょう。

図書館などで、[①　　]の相談や問い合わせに応じて、情報や[②　　]を探す業務

4　福井県立図書館職員の森さんは、図書館の役割をどう表現していますか。抜き出して書きましょう。

[　　]

5　あなたも本のタイトルを覚え間違いしていた経験がありませんか。
あったら書いてみましょう。

覚え間違い

『　　』

→正しいタイトルは

『　　』

NIEワークシートのこたえ（2026年11月2日公開）

◆ワークシート
「本タイトル覚え間違い1400件(国語)」
2026.10.26付　夕刊　7面　解答

1　20

2　①　100万回生きたねこ　　②　とっとこハム太郎
③　しろくまちゃんのほっとけーき

3　①　利用者　②　蔵書

4　人生を豊かにする手伝い

5　★覚え間違い経験、あなたもありますか？友だちとも話し合ってみましょう

★ちなみに幼いころのわたしは、どうして名探偵なのにホームズが「ヒーローの研究」をしているのか、なぞに思っていました。

すてっぷあっぷ

★わたしからのひとこと！（記事を読んでの感想や意見を１行で書いてみましょう。）

★１００字シート（□にチェック）　□記事の要約　□記事に対する感想・意見